

みなさまこんにちは。第4代ホールオルガニストの原田真侑です。私たちがミュージズに就任してから早くも4年目を迎えています。今回私からは、年度末3月24日（日）の三原さんのリサイタルに向けて、彼女について語ります！輝かしいご経歴については、チラシなどに記載されている通りですが（是非今一度お読みくださいませ！）、私が感じていることを書かせていただきたいと思います。とてもこの紙面では言いつくせませんが……



## 第4代ミュージズ ホールオルガニスト三原麻里が 3月24日にリサイタルを開催！

### ミュージズ ホールオルガニスト原田真侑から見た 三原麻里の魅力とは…

私が大学に入学したとき、三原さんは大学院を修了されたところで、ちょうど入れ替わりでした。残念ながら学校で一緒することはできませんでしたが、当時からは勝手に憧れていたのです。それからフランス留学を終えられた後、サントリーホールでの演奏会に伺いました（2016年4月）。フランス近現代のプログラムで、エネルギーと美しい歌心に溢れた素晴らしい演奏に圧倒されました。終演後、ご挨拶に伺いお話し



2020年就任の第4代ホールオルガニスト三原麻里・原田真侑。

することができたのですが、舞台での姿とはまた違った、ユーモアもあり楽しく優しいお人柄に触れ、益々ファンになってしまったのです。

その後数年を経て、2020年4月より所沢市民文化センターミュージズ第4代ホールオルガニストとして共に就任することが決まりました（恐れ多くも憧れの先輩と一緒させていただくこととなり、嬉しさよりも不安が大きかった私です…）。以来、当然ながら様々な場面で一緒に過ごす時間が増えました。レジストレーション（音色の選択）を決めるためにお互いの演奏を聴き合うことや、連弾の機会もたくさんあり、三原さんの素晴らしいさをより間近で解剖できている気がします！

# 多彩なレジストレーションと豊かな音楽性



アークホールのパイプオルガンは日本有数の規模を誇り75種の音色、5563本のパイプを有する。

言わずもがなですが、「テクニク」。自由自在に動く手足、どんなに軽い鍵盤も重い鍵盤も、美しいタッチでコントロールされるのです。とっても大変なことをしている時にも、大変そうに見せないという驚異！そして、「多彩なレジストレーション」。抜群のセンスとアイディア、ご経験が合わさっています。リサイタルのテーマ～印象派～でも、レジストレーションの極意が存分に活かされることでしょう。きっとこれまで聴いたことのない響きも登場するに違いありません。

すでに文字数が・・・と思いつつも書かずにはいられないのは「音楽性」。とても一言では表せませんが、確固たる分析や知識に基づきつつ、三原さんから湧き出る“うた”とでも言いましょうか・・・三原さんとミューズで過ごせた4年間は、私にとって本当に貴重で、常に学びに溢れていました。

三原さんのミューズ卒業公演となる3月24日（日）のリサイタル、是非みなさまと一緒に三原さんの世界に魅了されたいと思います。今すぐ手帳に書き込んで、どうぞ楽しみにお待ちください！！

公演の内容については、次号にて、ご本人に語っていただきます♪

2024年3月24日〔日〕 15時開演 アークホール

三原麻里〔オルガン〕 萩原麻未〔ピアノ〕 光と陰のハーモニー ～印象派の扉を拓く～

一般 1,500円 **メンバーズ特割 1,000円** ミューズチケットカウンター ☎04-2998-7777



公演詳細

プログラムなど詳細はちらし、ミューズHPをご覧ください



★ミューズのオルガン内部の様子★  
オルガンの秘密を三原麻里さんとレポート

## Profile 〈ミューズ・ホールオルガニスト 三原麻里〉

東京藝術大学オルガン科および、同大学院修了。平成25年度文化庁新進芸術家海外研修員としてフランスで研鑽を積む。2012年、第23回シャトル国際オルガンコンクール優勝で世界の注目を集めた。ヨーロッパ各地のオルガンフェスティバルに招待され演奏ツアーを行っている。